

平成21年度足利市一般会計及び各特別会計 歳入歳出決算並びに基金運用状況審査意見

第1 審査の対象

平成21年度	一般会計歳入歳出決算
同	介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算
同	介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算
同	国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算
同	老人保健特別会計歳入歳出決算
同	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
同	公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
同	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
同	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
同	堀里ニュータウン下水処理事業特別会計歳入歳出決算
同	物品調達基金の運用状況
同	国民健康保険高額療養資金貸付基金の運用状況
同	国民健康保険出産費資金貸付基金の運用状況

第2 審査の期間

平成22年7月5日から平成22年7月28日

第3 審査の方法

審査に当たっては、市長から審査に付された平成21年度足利市一般会計・各特別会計歳入歳出決算書及び附属書類並びに基金運用状況に関する調書等と、会計管理者及び関係部課が所管する諸帳簿とを照合し、計数の確認を行ったほか、予算の執行状況及び財政の運営状況等の説明を関係職員から聴取して審査を実施しました。

第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令にのっとり作成され、かつ、計数は、関係諸帳簿と符合し、正確であり、予算の執行もおおむね良好であると認められました。

なお、歳入歳出差引残高は、出納閉鎖日現在における指定金融機関等の預金現在高証明書と符合し、正確であることを確認しました。

1 概況

平成21年度の国際社会は、リーマン・ショック後の急速な金融・景気の悪化によりアメリカ自動車最大手2社が経営破たん、北朝鮮の6か国協議の離脱、中国北西部の新疆ウイグル自治区の大規模な暴動、黄海上での韓国哨戒艦沈没、スマトラ沖やチリ沖の

巨大地震の発生など、暗いニュースの多い一方、「核なき世界をめざす」オバマ大統領のプラハ演説があり、新たな潮流も見られました。

国内においても新型インフルエンザ発生の宣言が行われ、エコカーや省エネ家電の普及促進をはじめ、中小企業・雇用対策や社会保障など、旧政権による総額14兆円超の追加経済対策が実施される中、第45回衆議院議員総選挙で政権が交代、新政権による「事業仕分け」が開始されるなど、新しい時代の幕開けもありました。

また、栃木県においては、財政の健全化のための「とちぎ未来開拓プログラム」が策定され、徹底した「選択と集中」に取り組む中、本市においても、定額給付金の支給、新足利赤十字病院の建設工事の着手、事業仕分けの実施、また「足利事件」の無罪確定などの出来事がありました。

概して、わが国の経済は、世界的金融危機に伴う景気悪化のあと、春ごろ一部に持ち直しの動きが見られたものの、地方経済圏の自律的な回復には至らず、特に中小零細企業の多い本市においては、雇用情勢の低迷も影響して、市税収入が著しく減収するなど厳しい状況に置かれています。

このような中、本年度の一般会計及び9特別会計の総決算額は、歳入額84,407,181千円、歳出額81,702,661千円で、総決算額を前年度に比べると、歳入では1,719,866千円(2.0%)、歳出では2,187,100千円(2.6%)減少しています。

2 意 見

本市の経済環境を踏まえ、次の事項に留意し、適切な行財政運営に努められるよう要望します。

(1) 行財政運営について

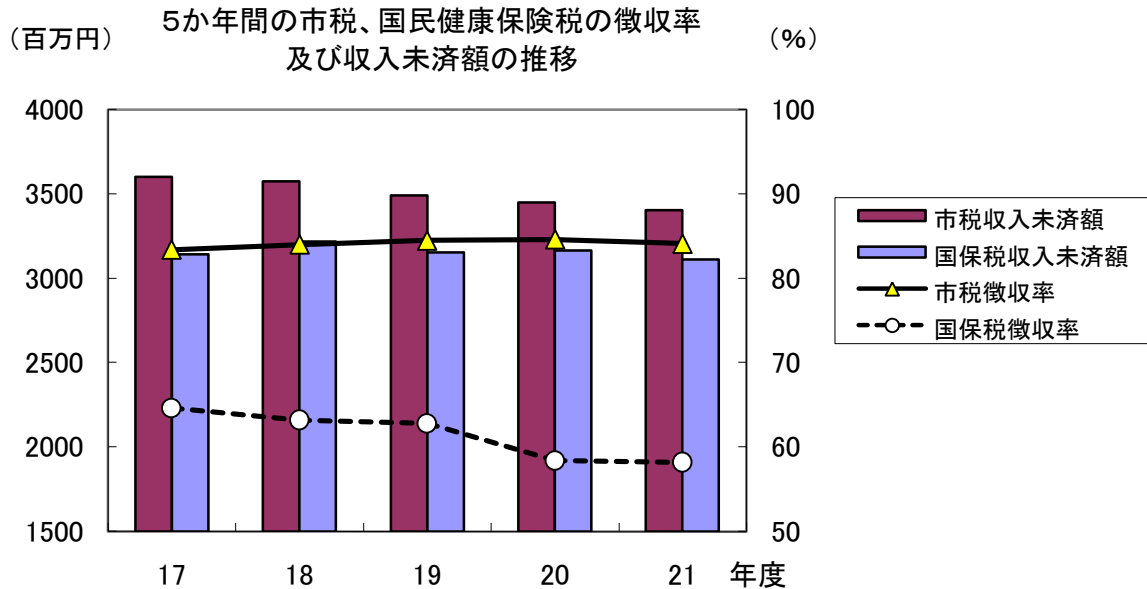
景気悪化の影響により市税が減収するなど厳しい状況にあることから、歳入においては収納率の向上と新たな財源の確保に努め、歳出においては事業の選択と集中による効率化を図り、最少の経費で最大の効果が発揮できる行財政運営をするよう望みます。

また、公債費、債務負担行為は、後年度の財政運営の硬直化に直接関連するものであり、慎重に対応するよう望みます。

(2) 収納率の向上について

市税及び国民健康保険税等の収納率は低下し、近隣市に比べても著しく低い状況にあります。市民への意識啓発を徹底し、滞納となる収入未済の縮減に取り組むとともに、悪質滞納者に対しては断固たる姿勢で徴収にあたるよう望みます。(53ページ別表6参照)

5か年間の市税、国民健康保険税の徴収率及び収入未済額の推移は、次のとおりです。

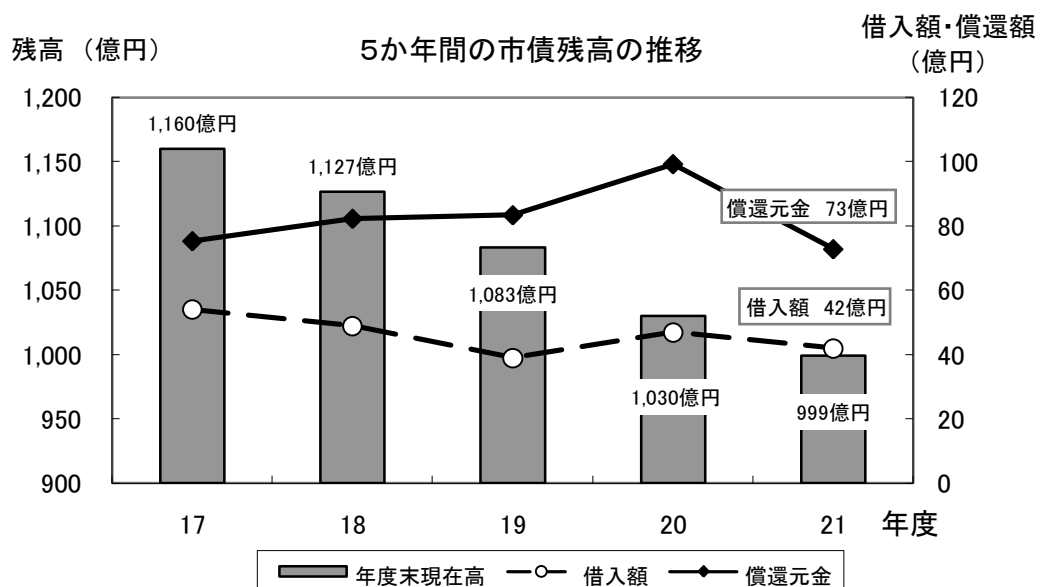


(3) 市債残高の削減について

市債は、長期的視野で都市基盤等を整備するために欠くことのできない財源ですが、一方では、過大な負担が後年度の財政の硬直化を招くことになります。市債残高は、財政健全化計画実施計画の実行や繰上償還の実施などにより減少していますが、今後も削減を進めるよう望みます。

5か年間の市債残高の推移は次のとおりです。

(52ページ 別表5参照)



(4) 特別会計について

特別会計は、本来特定の収入で賄われるものです。各会計の安定運営を図り今後も

一般会計からの繰出しを抑制するよう望みます。

ア 国民健康保険（事業勘定）

歳入の確保とともに更に医療費抑制の施策をとるよう強く望みます。

イ 公設地方卸売市場事業

施設運営を含め、減少している売上高の抜本的対策について検討するよう望みます。

ウ 農業集落排水事業

施設の有効活用と経営改善のため、水洗化率の向上を望みます。

エ 公共下水道事業

施設の有効活用と経営改善のため、水洗化率の向上を望みます。

(5) 事務事業の執行について

事務事業の執行にあたっては、市民の信頼を損なわぬよう関係法令を遵守するとともに、当初の事業目的に対して最少の経費で最大の効果を実現するよう望みます。

(6) 職員の意識改革等について

時流を把握し、社会の変化に迅速・的確に対応できる資質、国際性・先見性を涵養し、市民福祉の向上と市勢の発展に貢献できる、市民感覚を持った行動力のある職員を育成されるよう望みます。

- (注) 1 本文中及び表中の金額は、原則として千円単位とし、千円未満は四捨五入しました。このため、合計額と内訳の計が一致しない場合があります。各比率も同様です。また、合計額及び内訳の数値が、個別の四捨五入と一致しない場合があります。
- 2 構成比率（％）は、合計が100となるよう一部調整しました。また、各表中において、当該数値がないものを「－」としました。
- 3 ポイントとは、パーセンテージを比較した場合の単純差引数値です。

3 各会計の概要

(1) 各会計の総括

一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算額の状況は、次表のとおりです。

(単位 千円)

区分 会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	53,632,066	51,229,313	49,595,820	1,633,493
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	9,453,300	9,146,856	9,107,766	39,090
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	13,000	12,698	12,698	0
国民健康保険特別 会計(事業勘定)	16,785,200	17,114,099	16,242,969	871,130
老人保健 特別会計	129,600	184,097	24,897	159,200
後期高齢者医療 特別会計	1,345,300	1,241,956	1,241,622	334
公設地方卸売市場 事業特別会計	221,400	203,334	203,329	5
農業集落排水事業 特別会計	23,200	20,626	20,618	8
公共下水道事業 特別会計	5,381,615	5,239,888	5,239,187	701
堀里ニュータウン 下水処理事業特別会計	14,400	14,314	13,755	559
計	86,999,081	84,407,181	81,702,661	2,704,520

一般会計及び9特別会計の総決算額は、歳入額84,407,181千円、歳出額81,702,661千円で、差引2,704,520千円の剰余金を生じています。

このうち、翌年度へ繰り越す繰越明許費の財源175,517千円を差し引き、更に財政調整基金積立金600,000千円、減債基金積立金200,000千円及び国民健康保険財政調整基金積立金500,000千円を差し引いた1,229,003千円が翌年度への繰越金となっています。

また、総決算額を前年度に比べると、歳入では1,719,866千円(2.0%)、歳出では2,187,100千円(2.6%)減少しています。

(2) 純計総決算額

純計総決算額の状況は、次表のとおりです。

(単位 千円)

会計名		区分	歳入		
			決算額	重複計算控除額	差引純計歳入額
一般会計			51,229,313	0	51,229,313
特別会計	介護保険(保険事業勘定)		9,146,856	1,379,587	7,767,269
	介護保険(介護サービス事業勘定)		12,698	0	12,698
	国民健康保険(事業勘定)		17,114,099	995,649	16,118,450
	老人保健		184,097	2,297	181,800
	後期高齢者医療		1,241,956	309,954	932,002
	公設地方卸売市場事業		203,334	44,830	158,504
	農業集落排水事業		20,626	14,170	6,456
	公共下水道事業		5,239,888	2,805,500	2,434,388
	堀里ニュータウン下水処理事業		14,314	0	14,314
		計		33,177,868	5,551,987
合計			84,407,181	5,551,987	78,855,194

会計名		区分	歳出			純計歳入歳出差引額(△不足額)
			決算額	重複計算控除額	差引純計歳出額	
一般			49,595,820	5,551,987	44,043,833	7,185,480
特別会計	介護(保)		9,107,766	0	9,107,766	△1,340,497
	介護(介)		12,698	0	12,698	0
	国民		16,242,969	0	16,242,969	△124,519
	老人		24,897	0	24,897	156,903
	後期		1,241,622	0	1,241,622	△309,620
	公設		203,329	0	203,329	△44,825
	農業		20,618	0	20,618	△14,162
	公共		5,239,187	0	5,239,187	△2,804,799
	堀里		13,755	0	13,755	559
		計		32,106,841	0	32,106,841
合計			81,702,661	5,551,987	76,150,674	2,704,520

各会計間の繰入れ、繰出しによる重複を控除した純計総決算額は、前年度に比べて歳入額が485,371千円(0.6%)、歳出額が952,605千円(1.2%)減少しています。

純計歳入歳出差引額は2,704,520千円で、前年度に比べて467,234千円(20.9%)増加しています。

(3) 歳計現金月別収支状況

本年度の一般会計及び特別会計の歳計現金月別収支状況は、次表のとおりです。

(単位 千円・%)

区分 年・月	収入額	収入総額に 対する割合	支出額	支出総額に 対する割合	月末残高	
21年 4月	5,987,438	7.1	4,936,778	6.0	1,050,660	
5月	4,913,826	5.8	5,960,978	7.3	3,508	
6月	6,875,670	8.1	5,802,860	7.1	1,076,318	
7月	4,588,197	5.4	4,424,338	5.4	1,240,177	
8月	5,042,705	6.0	4,793,471	5.9	1,489,411	
9月	6,805,918	8.1	9,056,732	11.1	△761,403	
10月	4,975,677	5.9	4,940,482	6.0	△726,208	
11月	5,934,283	7.0	4,656,305	5.7	551,770	
12月	5,876,530	7.0	6,347,855	7.8	80,445	
22年 1月	4,185,084	5.0	4,257,705	5.2	7,824	
2月	3,835,386	4.5	5,388,941	6.6	△1,545,731	
3月	14,772,850	17.5	13,124,859	16.1	102,260	
計	73,793,564	87.4	73,691,304	90.2		
出納 整理 期間	4月	3,279,458	3.9	5,208,243	6.4	△1,826,525
	5月	7,334,159	8.7	2,803,114	3.4	2,704,520
	計	10,613,617	12.6	8,011,357	9.8	
合計	84,407,181	100.0	81,702,661	100.0		

上表のとおり、歳計現金の月末収支残高をみると、9月、10月、2月及び出納整理期間の4月で不足を生じていますが、これらは、財政調整基金、介護給付費準備基金、職員退職手当基金、社会福祉事業基金、減債基金、公共施設等整備基金等からの繰替運用などにより措置されています。

なお、一時借入金の借入限度額は、一般会計7,000,000千円、公共下水道事業特別会計3,000,000千円となっていますが、本年度の借入れは行われませんでした。